

オール水性・コンクリート打放し保護工法

セラミクリート工法[®]

Concrete Clear Finish by Ceramicrete

新築

超耐久・水性アクリルシリコン樹脂クリヤー工法

セラミクリート Si 工法

超耐久・低汚染水性ふっ素樹脂クリヤー工法

セラミクリート F 工法

改装

超耐久・水性アクリルシリコン樹脂クリヤー改装工法

セラミクリート TR-Si 工法

超耐久・低汚染水性ふっ素樹脂クリヤー改装工法

セラミクリート TR-F 工法



エスケー化研

環境に優しいオール水性仕様

オール水性コンクリート打放し保護工法

セラミクリート工法[®]

吸水防止層とシール効果を合わせ持つ新開発の水性浸透型吸水防止プライマー「セラミクリートプライマー」と超耐久性水性アクリルシリコン樹脂クリヤー、超耐久・低汚染型水性ふっ素樹脂クリヤーの組み合わせにより、優れた防水シール性と通気性、耐候性を示し、エフロレッセンス・中性化防止など、打放しコンクリートを過酷な環境から長期にわたって保護します。

特長

超耐久性

卓越した塗膜性能を持つ水性アクリルシリコン樹脂や水性ふっ素樹脂を上塗りに採用することで、紫外線や酸性雨によるコンクリートの劣化を抑制し、長年に亘り打放し仕上げの美観を維持します。

多彩なバリエーション

上塗りには艶有り、3分艶があります。この他、着色透明のカラークリヤー仕上げがあり、多彩なバリエーションの中から選択できます。

環境配慮・安全設計

オール水性仕様により、安全で大気汚染を防ぐ環境配慮型仕様を提供できます。また、シックハウス、シックスクール対策の観点から、建築基準法で指定されているホルムアルデヒドを始め、トルエン、キシレンなど厚生労働省が定めている室内濃度指針値物質^{注)}を含んでいない安全設計です。

注) 本カタログ製作時における指定物質

低汚染

セラミクリートFは超耐久性に加え、低汚染機能を併せ持つため、いつまでもきれいな外観を維持することができます。

■ 荷姿

商品名	艶の種類	特長	用途	ホルムアルデヒド 放散等級	荷姿	標準塗坪 ※ (㎡/缶(セット))
セラミクリートプライマー	—	コンクリート下地への浸透性、固着性、シール性に優れている。吸水防止性能を発揮。	下塗り	F☆☆☆☆	15kg、4kg	115～150 (1回塗り、15kg)
セラミクリートSi	艶有り 3分艶	アクリルシリコン樹脂エマルジョン系の水性クリヤー塗料で、耐久性に優れている	上塗り	F☆☆☆☆	15kg、4kg	100～115 (15kg)
セラミクリートF中塗材	—	付着力に優れた中塗材。セラミクリートF仕上げに用いる。	中塗り	F☆☆☆☆	15kg、4kg	115～150 (15kg)
セラミクリートF	艶有り 3分艶	ふっ素樹脂エマルジョン系の水性クリヤー塗料で、耐久性、低汚染性に優れている。	上塗り	F☆☆☆☆	15.2kg セット (主剤 15kg、硬化剤 0.2kg) 4.06kg セット (主剤 4kg、硬化剤 0.06kg)	116～152 (15.2kg セット)
ミラクファンドKC-2000	—	セメントとアクリルカチオン系の混和液から構成され、下地と強固に密着し、耐溶剤性、耐薬品性に優れている。	不陸・目違いなどの 欠損部の充填	F☆☆☆☆	25kg セット (粉体 20kg、混和液 5kg)	—
ミラク補修材	—	非セメント系の欠損部補修材。シロとグレーの組み合わせにより、容易に色合わせが可能。	欠損部の補修	—	16kg、4kg	—
セラミクリート補修材	—	アクリルシリコン樹脂エマルジョン系の補修材で、ポリマーセメントやミラク補修材による補修部位を調整する。	コンクリート表面の 補修跡の色相調整	—	4kg	—
セラミクリートフレッシュ	(色目：R4-70 近似)	アクリルシリコン樹脂エマルジョン系のカラークリヤーで、改修時の下地の雨だれ汚染、黒ずみを調整する。	改修時の色相調整	F☆☆☆☆	15kg、4kg	115～150 (15kg)
セラミクリートSiカラークリヤー	艶有り 3分艶	アクリルシリコン樹脂エマルジョン系の水性カラークリヤー塗料で、耐久性に優れている。	カラークリヤー仕上げ	F☆☆☆☆	15kg、4kg	100～115 (15kg)
セラミクリートFカラークリヤー	艶有り 3分艶	ふっ素樹脂エマルジョン系の水性カラークリヤー塗料で、耐久性、低汚染性に優れている。	カラークリヤー仕上げ	F☆☆☆☆	15.2kg セット (主剤 15kg、硬化剤 0.2kg) 4.06kg セット (主剤 4kg、硬化剤 0.06kg)	116～152 (15.2kg セット)

※ 記載の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

■ 危険情報と安全対策

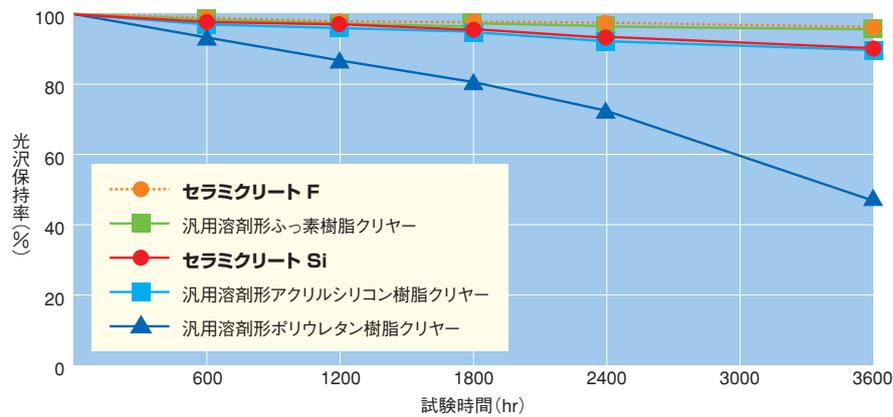
製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

■ 施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

シリコン・ふっ素だから強い

促進耐候性試験結果 (キセノンランプ法)



汚染性比較 (屋外暴露 1 年)



セラミクリートF



汎用クリヤー

性能試験成績表

試験項目	セラミクリートSi (艶有り)	セラミクリートF (艶有り)	規 定
付 着 性	100/100	100/100	JIS K 5600-5-6 付着性 (クロスカット法) 準拠
耐 洗 浄 性	合 格	合 格	JIS K 5600-5-11 耐洗浄性準拠 洗浄1000回
透 水 性	0.1ml/24hr	0.1ml/24hr	JIS K 6909 7.13 透水試験B法準拠
耐 温 水 性	合 格	合 格	50℃温水に3日間浸せき
耐アルカリ性	合 格	合 格	JIS K 5600-6-1の7 方法1 (浸せき法) 手順A準拠 飽和炭酸カルシウム水溶液に7日間浸せき
耐 酸 性	合 格	合 格	5%硫酸水溶液24時間スポット
耐 塩 水 性	合 格	合 格	JIS K 5600-6-1の7 方法1 (浸せき法) 手順A準拠 5%塩化ナトリウム水溶液7日間浸せき
温冷繰返し性	合 格	合 格	JIS K 6909 7.11 温冷繰返し試験に準拠 10サイクル
促進耐候性	光沢保持率 80%以上	光沢保持率 80%以上	JIS K 5600-7-7 促進耐候性 (キセノンランプ法) 照射時間2500時間

用 途

一般内外壁面

適用下地

開放しコンクリート、化粧コンクリート

※1 押出成形セメント板、GRC板、PC部材などは対象外です。
 ※2 改装の場合、対象は未塗装、もしくは浸透性吸水防止材が施されていた下地です。造膜タイプのクリヤー仕上げがなされている場合は、別途ご相談ください。

新 築

超耐久・水性アクリルシリコン樹脂クリヤー工法

セラミクリートSi工法

超耐久・低汚染水性ふっ素樹脂クリヤー工法

セラミクリートF工法

標準施工仕様

工 法 名	下 塗 り	中 塗 り	上 塗 り	艶の種類	期待耐用年数
セラミクリート Si 工法	セラミクリートプライマー	-	セラミクリートSi/ セラミクリートSiカラークリヤー	艶有り・3分艶	12~15年
セラミクリート F 工法	セラミクリートプライマー	セラミクリートF中塗材	セラミクリートF/ セラミクリートFカラークリヤー	艶有り・3分艶	15~20年

※ 上塗りは、クリヤー仕上げとカラークリヤー仕上げを選択できます。

■ 共通工程

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下 地 調 整	<ul style="list-style-type: none"> 下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 粉化物、エフロレッセンス、離型剤及びその他の付着物は除去してください。また、傷・不陸・目違いなどは補修調整してください。 							
1 下 塗 り	セラミクリートプライマー	100	0.10~0.13	1	-	3以上	-	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~10	-					

※1 セラミクリートプライマーは基材の吸込み程度により、塗回数を調整してください。
特に吸込みが多い下地には、必ず2回塗り(工程内間隔時間は3時間以上、24時間以内)してください。
塗回数を2回とする際の判断基準は、1回目の塗装後の状態で、
①塗装面に光沢が無い。
②塗装後1時間が経過し、水をかけても濡れ色になる。
上記①・②の現象が認められた場合は、2回塗りが必要です。
所要量は合計0.20~0.26kg/m²となります。

■ クリヤー仕上げ

●セラミクリート Si (アクリルシリコン樹脂系)

(23℃)

2 上 塗 り	セラミクリート Si	100	0.13~0.15	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	5~20	-					

●セラミクリート F (ふっ素樹脂系)

(23℃)

2 中 塗 り	セラミクリートF中塗材	100	0.10~0.13	1	-	3以上	-	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~15	-					
3 上 塗 り	セラミクリートF 主 剤	100	0.10~0.13	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	セラミクリートF 硬化剤	1.33						
	清 水	0~15	-					

■ カラークリヤー仕上げ (着色タイプのクリヤーによる仕上げ)

●セラミクリート Si カラークリヤー (アクリルシリコン樹脂系)

(23℃)

2 上 塗 り	セラミクリートSiカラークリヤー	100	0.13~0.15 ^{※2}	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	5~20	-					

●セラミクリート F カラークリヤー (ふっ素樹脂系)

(23℃)

2 中 塗 り	セラミクリートF中塗材	100	0.10~0.13	1	-	3以上	-	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~15	-					
3 上 塗 り	セラミクリートFカラークリヤー 主 剤	100	0.10~0.13 ^{※2}	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	セラミクリートF 硬化剤	1.33						
	清 水	0~15	-					

※2 色調を濃くする場合は、塗回数を2回としてください。なお、所要量は0.20~0.26kg/m²、工程内間隔時間は3以上となります。

改 装

超耐久・水性アクリルシリコン樹脂クリヤー改装工法

超耐久・低汚染水性ふっ素樹脂クリヤー改装工法

セラミクリートTR-Si工法

セラミクリートTR-F工法

オール水性・コンクリート打放し改装工法

セラミクリートTR工法

Ceramicrete Total-Refresh Method

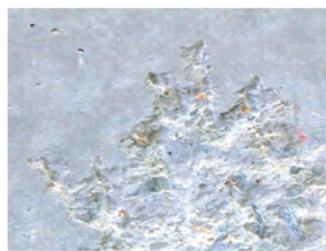
コンクリート打放し仕上げでは、美観を長期間保つために表面に浸透性吸水防止材やクリヤー塗装が施されています。改修ではコンクリート打放しの美観を復元し、下地に適した工法を選択することで、美しい仕上げを維持していくことが大切です。

セラミクリートTR工法は、専用の下塗り層と、紫外線から建物の表面劣化を防ぐ超耐久性の上塗り層からなる水性コンクリート打放し改装工法です。コンクリートの耐久性を高め、長期間に亘りこれを保護することができます。

なお、対象は未塗装、もしくは浸透性吸水防止材が施されていた下地です。造膜タイプのクリヤー仕上げがなされている場合は、別途ご相談ください。

■補修施工手順

1 洗浄

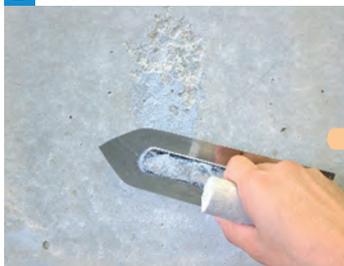


施工前



完成

2 欠損補修①



●ミラクファンド KC-2000

3 欠損補修②



●ミラク補修材 ※1

4 プライマー施工



●セラミクリートプライマー

5 (補修塗り工程)



●セラミクリート補修材
(必要に応じて実施)

6 改修専用中塗り工程



●セラミクリートフレッシュ
(無泡ローラー、刷毛でも施工できます)

7 上塗り



●各種上塗り材
(無泡ローラー、刷毛でも施工できます)

※1 ミラク補修材の使用方法は、別途最寄りの営業所へお問い合わせください。

改修例

改修前

改修後

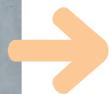
● 妻壁



● エントランス



● 開放廊下腰壁



▲シーリング材の打替え

● 階段との取合部



改装標準塗装仕様（1）

工 法 名	下 塗 り	中 塗 り	上 塗 り	艶の種類	期待耐用年数
セラミクリート TR-Si工法	セラミクリートプライマー	セラミクリートフレッシュ	セラミクリートSi/ セラミクリートSiカラークリヤー	艶有り・ 3分艶	12～15年
セラミクリート TR-F工法	セラミクリートプライマー	セラミクリートフレッシュ	セラミクリートF/ セラミクリートFカラークリヤー	艶有り・ 3分艶	15～20年

※ 上塗りは、クリヤー仕上げとカラークリヤー仕上げを選択できます。

セラミクリート TR-Si 工法

- 下地の種類：コンクリート打放し（未塗装）
- 仕 上 材：水性アクリルシリコン樹脂クリヤー

■ 共通工程

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下 地 調 整	※1 ●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●粉化物、エフロレッセンス、離型剤及びその他の付着物は除去してください。 ●不陸・目違いなどはミラクファンドKC-2000及びミラク補修材を使用して補修してください。 ひび割れ部、欠損部の補修はCRMS工法（別途資料参照）に準じて補修してください。							
1 下 塗 り	セラミクリートプライマー	100	0.10～0.26	1～2	3以上 24以内	3以上	-	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400～600ml/分 パターン幅:25～30cm
	清 水	0～10	-					
2 (補修塗り)	セラミクリート補修材	100	下地の状況 に応じ適宜	1	-	3以上	-	ウエス エアレススプレーガン 吐出量:400～600ml/分 パターン幅:25～30cm
	清 水	0～10	-					
3 中 塗 り	セラミクリートフレッシュ	100	0.10～0.13	1	-	3以上	-	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400～600ml/分 パターン幅:25～30cm
	清 水	5～20	-					

※1 下地の劣化が著しい場合は、ポリマーセメントモル等により、下地補修を行ってください。

※2 改修時の下地は経年変化により吸込みが大きくなっている場合があります。
セラミクリートプライマーは基材の吸込みの程度により塗回数を調整してください。
塗回数を2回とする際の判断基準は、1回目塗装後の状態で、

①塗装面に光沢が無い

②塗装後1時間経過し、水をかけても全面が濡れ色になる

上記①・②の現象が認められた場合は2回塗りが必要です。このように、試験塗りで密着性を確認した上で本施工に入ってください。

※3 セラミクリート補修材は、セラミクリートフレッシュ塗装後の補修塗りにもご使用頂けます。

■ クリヤー仕上げ

(23℃)

4 上 塗 り	セラミクリートSi	100	0.10～0.13	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400～600ml/分 パターン幅:25～30cm
	清 水	5～20	-					

■ カラークリヤー仕上げ

(23℃)

4 上 塗 り	セラミクリートSiカラークリヤー	100	0.10～0.13 ^{※4}	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400～600ml/分 パターン幅:25～30cm
	清 水	5～20	-					

※4 色調を濃くする場合は、塗回数を2回としてください。なお、所要量は0.20～0.26kg/㎡、工程内間隔時間は3以上となります。

改装標準塗装仕様 (2)

セラミクリート TR-F 工法

- 下地の種類：コンクリート打放し（未塗装）
- 仕上材：低汚染水性ふっ素樹脂クリヤー

■ 共通工程

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下 地 調 整	※1 ●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●粉化物、エフロレックス、離型剤及びその他の付着物は除去してください。 ●不陸・目違いなどはミラクファンドKC-2000及びミラク補修材を使用して補修してください。 ひび割れ部、欠損部の補修はCRMS工法（別途資料参照）に準じて補修してください。							
1 下 塗 り	セラミクリートプライマー	100	0.10~0.26	1~2	3以上 24以内	3以上	-	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~10	-					
2 (補修塗り)	セラミクリート補修材	100	下地の状況 に応じ適宜	1	-	3以上	-	ウエス エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	0~10	-					
3 中 塗 り	セラミクリートフレッシュ	100	0.10~0.13	1	-	3以上	-	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	清 水	5~20	-					

※1 下地の劣化が著しい場合は、ポリマーセメントモル等により、下地補修を行ってください。

※2 改修時の下地は経年変化により吸込みが大きくなっている場合があります。

セラミクリートプライマーは基材の吸込みの程度により塗回数を調整してください。

塗回数を2回とする際の判断基準は、1回目塗装後の状態で、

①塗装面に光沢が無い

②塗装後1時間経過し、水をかけても全面が濡れ色になる

上記①・②の現象が認められた場合は2回塗りが必要です。

※3 セラミクリート補修材は、セラミクリートフレッシュ塗装後の補修塗りにもご使用頂けます。

■ クリヤー仕上げ

(23℃)

4 上 塗 り	セラミクリートF 主 剤	100	0.10~0.13	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	セラミクリートF 硬化剤	1.33						
	清 水	0~15	-					

■ カラークリヤー仕上げ

(23℃)

4 上 塗 り	セラミクリートFカラークリヤー 主 剤	100	0.10~0.13	1	-	-	24以上	無泡ローラー(短毛)、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:400~600ml/分 パターン幅:25~30cm
	セラミクリートF 硬化剤	1.33						
	清 水	0~15	-					

※4 色調を濃くする場合は、塗回数を2回としてください。なお、所要量は0.20~0.26kg/㎡、工程内間隔時間は3以上となります。

施工上の注意点

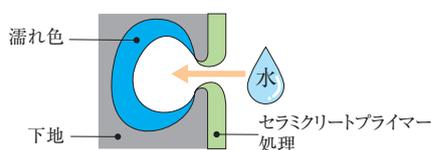
- 塗装面は粉化物、エフロレッセンス、離型剤などを取り除き、水洗を行った後はコンクリート打放し表面の乾燥養生を十分に取るようにしてください。
- 離型剤や油脂などが付着している場合、シンナーで拭きとってください。
- コンクリート打放し面の仕上がりは、できる限り均質・均一が望ましく、巣穴・ジャンカ・ひび割れがないことが理想です。
- 事前に下地補修がなされている場合、セラミクリートプライマー施工後、吸込み差を生じ、色違いが発生することがあります。
- 指定する補修材以外の材料を使用すると、仕上りムラの原因になりますので避けてください。
- エアレススプレーの塗装条件は次の通りです。(吐出量) 400 ~ 600 ml/分、(パターン幅) 25 ~ 30cm
- 上塗材の希釈率は施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温 5℃以下、湿度 85%以上の時は、原則的に施工は避けてください。気温 5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により雰囲気温度、被塗面温度を 5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生、つや引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤形塗料での塗装を推奨いたします。
- 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 本仕様の材料は使用前に電動ミキサーで十分に攪拌混合してください。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により、増減します。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- 塗装に用いた塗装機器は、塗装終了後速やかに水洗いを行ってください。
- セラミクリート工法は、下地の状態により、仕上りが異なります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- カラークリヤー仕上げでは、一度に厚塗りすると色調を修正できず、色むらになりますのでご注意ください。
- セラミクリート F 中塗材が塗装されていないと、剥離や性能不良の原因となりますので、中塗材の塗り残しがないように塗装してください。
- シーリング材など、吸い込みのない下地へは施工できません。養生して施工を行ってください。
- シーリングの打ち替えが必要な場合は、後打ちしてください。
- セラミクリートプライマーを使用した機器の洗浄は清水にて十分に行ってください。洗浄をせずに他の材料を使用するとハジキを生じる原因となります。
- セラミクリートプライマー、セラミクリート Si/F、セラミクリート F 中塗材は乾燥後、塗装部と未塗装部の区別がつきにくくなります。塗装は中断することなく連続して 1 スパン毎に行ってください。
- 下地処理の詳細については、別途お問い合わせください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

<低汚染機能の発揮条件(セラミクリートF)>

- 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分がかかった状態になると、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨がかからないようにしてください。
- 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がかからない部位などは注意が必要です。
- 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。
- 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。

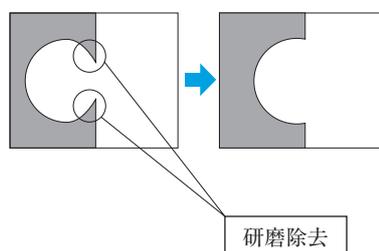
ご注意ください

巣穴・ジャンカ・ひび割れがある場合は、あらかじめ補修を行ってください。特に、表面上は小さい巣穴でも、中が大きな空洞になっている場合は、セラミクリートプライマーの効果が十分発揮されず、降雨などにより巣穴周辺が濡れ色になることがありますので、十分な補修が必要になります。

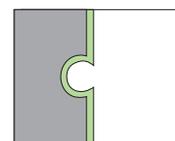


【補修方法】

表面を研磨などして巣穴を広げ、大きさによって補修材等で補修してください。

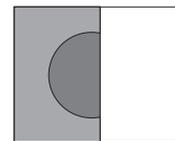


巣穴が
1mm以下



そのまま塗装

巣穴が
1mm以上



セメントモルタル等で補修

色見本



未処理

クリアー仕上げ



カラークリアー仕上げ CRP-01



カラークリアー仕上げ CRP-02



カラークリアー仕上げ CRP-04

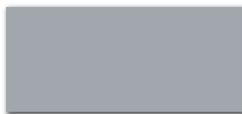


カラークリアー仕上げ CRP-06

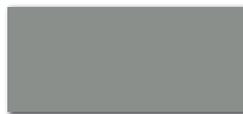
セラミクリート補修材色見本



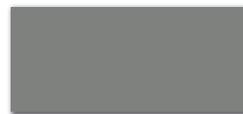
シロ



WC-1

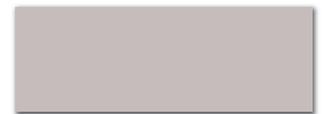


WC-2



WC-3

セラミクリートフレッシュ色見本



- 注) 1.写真は印刷のため、実物と多少異なる場合があります。特にカラークリアー仕上げは、下地の影響を受けますので、あらかじめご了承ください。
- 注) 2.下地の状況（色目や吸い込み差、下地補修の方法など）や吹き方、所要量によって色目が大幅に異なる場合があります。必ず試し塗りをを行い、確認した後、本施工に入ってください。
- 注) 3.セラミクリート補修材の色は、下地の色にあわせて、オーカ、アカサビ、クロで色調整が可能です。また、下地の色の影響を大きく受けますので、必ず試し塗りをを行い確認した後、本施工に入ってください。
- 注) 4.改装工法では、セラミクリートフレッシュ本体の色の影響により、同じ色番号でも上塗り後の色目が異なります。

施工事例



ハウスパーンフリート中山（広島）

- 使用材料：セラミクリート TR-F 仕上げ
- 設 計：(株) グランドアメニティ



朱鷺メッセ（新潟）

- 使用材料：セラミクリート Si 仕上げ
- 設 計：(株) 横総合計画事務所





大阪府立近つ飛鳥博物館改修工事(大阪)

- 使用材料：セラミクリート F 仕上げ
- 設 計：安藤忠雄建築研究所



安田女子大9号館(広島)

- 使用材料：セラミクリート Si
カラークリヤー3分艶仕上げ
- 設 計：大成建設(株)



共通施設棟

**駒沢大学付属
苫小牧高等学校(北海道)**

- 使用材料：セラミクリート Si 仕上げ
- 設 計：(株)西村建築設計事務所



石川県立大学生産科学棟(石川)

- 使用材料：セラミクリート Si
カラークリヤー仕上げ
- 設 計：(株)山岸建築設計事務所
同共通施設棟
- 設 計：(株)松田平田設計



エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733

東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601

国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000	千葉支店 ☎043-304-0411	名古屋支店 ☎052-561-7712	神戸支店 ☎078-671-0451	福岡支店 ☎092-629-3427
仙台支店 ☎022-259-2431	埼玉支店 ☎048-686-2391	京都支店 ☎075-646-3967	広島支店 ☎082-943-5043	
東京支店 ☎03-3204-6601	横浜支店 ☎045-820-2400	大阪支店 ☎072-621-7721	高松支店 ☎087-865-5411	

旭川営業所 ☎0166-51-8094	宇都宮営業所 ☎028-657-5555	横浜住野辺営業所 ☎045-820-5525	大阪営業所 ☎072-621-7722	福岡営業所 ☎092-622-5561
仙台住野辺営業所 ☎022-388-8518	懸浮-美工営業所 ☎03-3204-6601	厚木営業所 ☎046-294-3666	大塚住野辺営業所 ☎072-621-7747	福岡住野辺営業所 ☎092-622-5562
青森営業所 ☎017-762-3855	東京住野辺営業所 ☎03-3204-6602	静岡営業所 ☎054-284-1877	南大阪営業所 ☎072-253-1910	大分営業所 ☎097-555-9081
盛岡営業所 ☎019-654-8380	千葉営業所 ☎043-304-0411	浜松営業所 ☎053-462-7021	神戸住野辺営業所 ☎078-671-0451	長崎営業所 ☎095-887-0871
郡山営業所 ☎024-962-7673	千葉住野辺営業所 ☎043-304-0413	三河営業所 ☎0564-28-1614	姫路出張所 ☎079-281-5311	熊本営業所 ☎096-344-5650
新潟営業所 ☎025-285-6551	埼玉営業所 ☎048-686-2391	北陸営業所 ☎076-266-1041	岡山営業所 ☎086-242-5520	鹿児島営業所 ☎099-284-5321
群馬営業所 ☎027-280-5350	埼玉住野辺営業所 ☎048-686-1586	名古屋営業所 ☎052-561-7712	住野辺営業所 ☎082-943-5053	宮崎出張所 ☎0985-61-7779
長野営業所 ☎026-239-6210	岐阜営業所 ☎058-273-1981	名古屋住野辺営業所 ☎052-569-6783	山口営業所 ☎083-924-7575	沖縄営業所 ☎098-862-5041
松本営業所 ☎0263-24-2677	三多摩営業所 ☎042-564-5806	岐阜営業所 ☎058-273-1981	松山出張所 ☎089-968-7240	
水戸営業所 ☎029-251-6515	横浜営業所 ☎045-820-2400	三重営業所 ☎059-254-3777	北九州営業所 ☎093-621-8505	

大和根工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このウェブサイトに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このウェブサイトに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>



特約販売店

[製作年月:2018年3月] (180315.Y-11)